

調査・研修等計画届出書

令和6年6月3日

瀬戸市議会議長 様

議員名 戸田 由久

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和6年7月10日から 7月11日まで（1泊2日）	
調査先・研修名	全国地方議会サミット2024	
会場名（会場所在地）	東京都 早稲田大学国際会議場	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	7月10日（水）13時から17時30分 ・震災で被災された自治体及び議会の経験を学び、いつ来てもおかしくない災害に対し、瀬戸市は備えができているのかを学ぶ。 7月11日（木）10時から16時 ・これまで議会改革を瀬戸市議会も行ってきたが、最新のトレンドとトピックスについて学び、市民福祉の向上を目的に更なる議会改革を学ぶ。	
議長名の依頼	要 ・ ☒ 不要	依頼先（名称）
同行者名	中川 昌也	

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和 6 年 7 月 31 日

瀬戸市議会議長 様

議員名 戸田 由久

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 6 年 7 月 10 日から 7 月 11 日まで（1 泊 2 日）
調査先・研修名	全国地方議会サミット 2024
会場名（会場所在地）	早稲田大学井深大記念ホール
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	非常事態に備え、これからの議会に必要なことを被災地の事例を通して学ぶと共に、議会改革の軌跡を確認し、最新のトレンドを大正大学の江藤敏昭教授の講演と法政大学土山希美枝教授の事例検証講演から学ぶ。積極的に議会改革を行ってきた瀬戸市議会であるが、現状、羅針盤を失い議会の歩みが止まったかに思える。今一度、改革あるいは活性化の羅針盤をえることを目的とする。
研修で学んだこと・受講後の感想及び考察等	
7 月 10 日（水）13 時から 17 時 30 分	
① 震災対応セッションについて	
能登半島地震被災地、熊本地震被災地からの報告や状況の対応が語られた。注目したのは、発災後 3 日の対応と 4 日～一週間の対応である。前者は情報収集機能がカギを握り、後者は課題整理機能がカギを握るとのことであった。これについては行政が通常よりそれぞれの機能の充実を念頭に置いた対応策を明確にしておくべきとの指摘がされた。次に復旧期（一週間～数ヶ月）の期間については、災害の規模によって対応は変わる。しかも、復旧期が過ぎ復興期になれば、関心が薄れボランティアが減少する。このような事実を前提として、議会については各フェーズごとに議会の果たすべき役割と避けるべき行動を明確にし、あらかじめ議会議員全体で共有しな	

ければならない。これらを踏まえた災害対応計画の策定が必要であると結論づけられた。策定にあたっては、議員は選挙ごとに変わるため、議論のプロセスを明確に記録しておくことも重要であると加えられた。以上のことを考慮するだけでも、当議会において一つでも今一度、検証すべきことが明確になった。最後のまとめとして、広域な被害が出る地震を想定し、大規模地震の被災地報告からの学びとして、各市町村で一台ずつ仮設トイレ車を準備する提案を各議会が執行機関対して行なうことを、具体的な施策の一つのコンセンサスとした。被災自治体への応援としてはかなり有効であり、今すぐにでも具体化できる案であるといえる。

7月11日（木）10時から16時

② 議会活性化のトレンドについて

地方制度改革の流れについて、1993年の地方分権推進法の議論を経て地方分権推進法が制定され、更に2000年に地方分権一括法が制定されている。この法の精神としては、国と地方は対等であることが憲法の示すところであり、地方は国の下請けではない。よって、国と地方は対等協力の関係が原則であり、地方はこの意味を理解すべきだとの厳しい指摘がなされた。

続いて、この指摘を前提として地方議会の自立を推進する議会活性化のトレンドとして、委員会代表質問について法政大学土山希美枝教授を中心にセッションが行われた。委員会代表質問が持つ機能として、自治体の目標達成のため政策、制度を整える。つまり、政策分野ごとに具体的な政策課題や争点を、党派を超えて共有する。この委員会で共有された意見により、行政との対峙が生まれ、ここを争点として議論することで自治体の政策が市民の利益になっていくプロセスが生み出されるということである。当然のことながら、議会の役割つまり、市民に対する約束は行政に対する監視機能と政策提言機能です。この二つの機能をフル回転させて、市民にとって最も利益となる議決を行う責任があります。その観点で、瀬戸市議会でも早急に委員会代表質問を制度として設置すべく行動しなければならないと認識した。

次に議会選出の監査委員についてのセッションが行われた。監査委員については、市の事業、予算が適正かつ厳格に行使されているのかを監査する、非常に重要な職責にもかかわらず、その職責の重さが本当に理解されているのかという問いであった。会場の議員からは、議会選出の監査そのものが役職取りの一つになっており、その職責には重きが置かれておらず、形骸化したものになっているとの発言があった。私も本庁監査を経験したが、この議員の発言には共感できる点もある。瀬戸市議会でも、議会活性化の観点で今一度、監査委員に対する真剣な議論が必要であると考えます。

行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 ／ 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
6 年 7 月 10 日	瀬戸市	愛環	片道	高蔵寺	6.2	km	280	円		円
	高蔵寺	JR	片道	名古屋	24	km		円		円
	名古屋	新幹線	片道	東京	366	km		円	11,320	円
	大手町	地下鉄	片道	早稲田	5.1	km	180	円		円
	早稲田	私鉄	片道	大塚駅前	3.3	km	170	円		円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
	スーパーホテル大塚				03-3918-9200		9,200 円			
備考欄										

21,150 円

日付	出発駅	交通手段	片道／往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
6 年 7 月 11 日	大塚駅前	私鉄	片道	早稲田	3.3	km	170	円		円
	早稲田	地下鉄	片道	大手町	5.1	km	180	円		円
	東京	新幹線	片道	名古屋	366	km		円		円
	名古屋	JR	片道	高蔵寺		km		円	11,320	円
	高蔵寺	愛環	片道	瀬戸市		km	280	円		円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
							円			
備考欄										

小計 11,950 円

日付	出発駅	交通手段	片道／往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
年 月 日						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金			
							円			
備考欄										

パック等による割引など

小計 0 円

円

宿泊費 合計

交通費 合計

9,200 円

23,900 円

申請額合計
(宿泊費+交通費-割引代)

33,100 円